

 南房総市社会福祉協議会広報紙

てんだあ

第5号

「てんだあ」とは英語で「やさしさ」という意味です。 2008年3月

〒295-0004千葉県南房総市千倉町瀬戸2705-6 TEL (0470) 44-3577/FAX (0470) 44-3542
ホームページアドレス <http://www.shakyo-minamiboso.or.jp>



春のいぶきを袋いっぱいにつめこんで

富浦子育てサロンに参加する親子が菜花摘みを体験しました。

このサロンは、地域で子供をかかえる家族同士のネットワークづくりを目的に、年間を通じて家族で参加できるイベントを企画しています。



ふれあい支えあいの福祉のまちづくりを 決意新たに目指し

第2回南房総市社会福祉大会

2月24日(日)三芳農村環境改善センターにおいて、第2回社会福祉大会が開催されました。

当日は福祉関係者が一堂に会し、地域福祉向上のため決意を新たにすると共に、福祉活動の推進にご尽力され功績のあった方へ表彰状、福祉事業の推進にあたり多大な浄財をご寄贈頂いた方へ感謝状の贈呈を行いました。



飯田大会会長のあいさつ

大会宣言

- 1、地域性を生かした地区社会福祉協議会の振興に努めます。
- 1、次世代を担う青少年の福祉教育を推進します。
- 1、ボランティア活動の支援に努めます。
- 1、地域の見守りネットワークを整備します。
- 1、誰もが参加できる地域福祉活動を推進します。

以上のとおり、参加者全員で宣言しました。

石井裕市長を始め、来賓の皆様のご挨拶の後、「住民参加とふれあい・支え合いのある心豊かな福祉のまちづくり」と誓いあいました。

引き続き、記念講演では、医学博士・日本東洋医学会専門医の松原英多氏をお迎えし、「身近な医学の心得」と題し、講演をいただき盛会の内に終りました。

表彰されました方々は次のとおりです。今後のさらなるご活躍をご祈念申し上げます。

南房総市社会福祉協議会 会長表彰

地域福祉功労者

○永年にわたり本会役員として社会福祉活動の推進にご尽力されました。

山野 悦郎 様
安西 隆 様
豊田 護 様
相川 芳郎 様

民生委員児童委員

○民生委員児童委員として3期9年の長きにわたり、地域住民の生活の安定と地域福祉の向上にご尽力されました。

吉田 正夫 様
佐々木 龍之 様
田中 信子 様
新藤 恵子 様
栗原 俊 様
岩井 布子 様
関 和子 様
平川 基 様
渡邊 田喜雄 様
錦織 智恵子 様
佐久間 容子 様
石塚 公明 様

南房総市社会福祉協議会 会長感謝状

○高額寄付者

小原 一美 様
井上 正雄 様
伊藤 志づ子 様
株式会社おどや
演歌塾丸山
我夢歌謡教室
高樹きみ江教室
有限会社安房の国
千倉ゴルフクラブ
千葉美装株式会社
株式会社アスカ佛商様



地域の福祉活動にご尽力された方々へ表彰状を贈呈

福祉の源はまず健康から 社会福祉大会

記念講演

医学博士 松原 英多氏



おもいっきり健康法

記念講演では、「身近な医学の心得」を知っているようで知らない健康の常識と題し、講演をいただきました。

少子高齢化が進む中、健康で楽しく長生きするために、大事なものは「ぼけ」予防であり、それには簡単な社会参加として「あいさつ」が大事とのこと。あいさつでも相手によって様々な仕方があり、それが気配りの訓練となり脳を使いぼけ予防になるとのことでした。

また脳は血液がこなければ働かない。脳に豊富な血液を送り込むためには3度の食事と、咀嚼力が低下している軟食の現代では、それを補うためにガムを噛むことが効果的と話されました。

限られた時間でしたが、会場はクイズあり笑いありで参加者には「ためになった」と盛況でした。

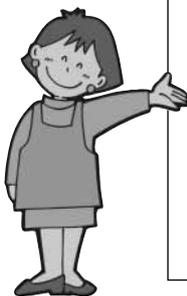
千倉地区配食ボランティアの生い立ちを紹介

社会福祉協議会では、一人暮らし高齢者へ安否確認をかねた配食サービスを市内で展開しています。千倉地区の配食ボランティアの立ち上げ、育成、活動までをボランティアが写真、イラストを使って紹介しました。

給食ボランティアの現在の活動

給食・配食ボランティア 50名がただいま活動中!	朝夷地区	配食数:85食 実施日:毎月第2火曜日に15名で調理
	健田地区	配食数:90食 実施日:毎月第3木曜日に15名で調理
	忽戸・七浦地区	配食数:105食 実施日:毎月第4木曜日に15名で調理

★できあがったお弁当は、千倉地区民生委員児童委員が該当者自宅へ一軒一軒、お届けしています。



ボランティア・デイサービスの活動を大会会場で紹介

まるで職人!!

デイサービスとみやま
お達者くらぶ利用者の作品を展示



できあがった作品

デイサービス利用者さんが作った、タペストリーや花模様厚紙を丁寧に張ったティッシュボックスを展示しました。



ちぎり絵で作った紙芝居

会場を訪れた人たちは、飾られた作品について「このティッシュボックスは、本物の彫刻みたいだね」「細かい作業なのにきれいでできていますね」と見入っていました。

あたたかいお茶をどうぞ

ふれあい喫茶「なごみ」が大会会場にオープン!



いい香りに誘われて



「なごみ」は、日頃、和田地区で活動している、ボランティアが開いている喫茶店。喫茶フロアには、入れたてのコーヒーの香りが広がり、本大会の来場者も、会場内へ急ぐなか、足を止め温かいコーヒー・紅茶とお茶菓子をいただき、ほっと一息。

特集 地域のこの人に聞きたい



社会福祉協議会では、地域の皆さんの参加により、ともに支えあい、安心してくらするまちづくりを目指して様々な取り組みをしています。

その中で、今回は、「配食サービス」に焦点をあて、実際にお弁当を作っている方やお弁当をお届けしている方、そして、このサービス

の中で、今回は、「配食サービス」に焦点をあて、実際にお弁当を作っている方やお弁当をお届けしている方、そして、このサービス

の中で、今回は、「配食サービス」に焦点をあて、実際にお弁当を作っている方やお弁当をお届けしている方、そして、このサービス

ひとり暮らし高齢者にお弁当とぬくもりをお届け



お待たせしました、温かいうちにどうぞ。

スを利用していらっしゃる方々の「声」を聞きました。

お弁当は、各地域のボランティアさんが作り、民生委員児童委員さんやボランティアさんによって利用者さんにお弁当をお届けします。

現在、南房総市内の配食数は、毎月750食ほど作りお届けしています。

配食サービスってどんなサービス？

70歳以上の一人暮らしの高齢者に食生活の維持向上を支援するとともに安否確認をかねて月1回、昼食にお弁当をお届けするサービスです。

お弁当を作っている人の声

質問☆献立で気をつけているところはありますか？

▼高齢の方に食べやすいものを作るようにしています。栄養バランスを考えて、脂っこいものは控えるようにしています。

また、旬な食材を入れることにより季節感も出すようにしています。昔から慣れ親しんだ「地元」の味も取り入れるようにしています。

▼食べやすいように、やわらかいものや切り方も工夫しています。

質問☆お弁当を作るにあたり苦労しているところはありますか？

▼朝早くから行かなければならないことです。でも、調理する私たちも楽しんで作っているのであまり気になりません。それに、家庭と違って扱う食材の量が多いので、火加減や調味料の分量が難しいです。

▼家庭と同じように限られた家計の中でやりくりしなければいけないことです。また、季節によって食材の値段が変わるので食材選びも考えています。



盛りつけも、ちょっとした工夫でこのうまさ！

質問☆やりがいのあるところはありますか？また、やっていてよかったところはありますか？

▼利用者さんから「この前のお弁当はおいしかったよ」や届ける人から「みなさんこの日を楽しみに待っていますよ」と声を掛けてもらうと作っている私たちもうれしくなります。

▼私たちも楽しんで、お互い助け合いながら和気あいあいと作っていますし、それに、他の地区のボランティアさんと交流の輪も広がります。



お弁当の袋詰め、これから1軒1軒お届けします。

お弁当を届ける人の声

質問☆お弁当をお届けしていて苦労していることはありますか？

▼届けて行っても留守の時があります。安否確認も兼ねているので、会えるまで何回も行かなくてはならないことです。ですから、前日に「明日お弁当の日だよ」と電話して確認をするようにしています。

▼犬を飼っているお宅へ行くとき吠えられます。(笑)で

も、その声が合図のように家の人が出てきます。

▼夏は、食材が痛みやすいから、弁当ではなく、パンを届けています。でも「やっぱりごはんがいい。」という声もあります。

▼届けていると、日頃あったことをお話ししますが、次のお宅にもお弁当を待っている人がいるからと弾んだ話も途中になってしまいます。

質問☆お弁当を届けるときに気をつけていることがありますか？

▼やはり、会話を心がけています。話をすることで前に届けた時より元気がないなど、体調の良い悪いに気づくことがあります。

▼私たちも1人5〜6軒のお宅に届けていますが、届け先が居ない時に「○○さん、元気でいるよ、ちょっと用足していないよ。」と教えてくれるご近所もあります。利用者の生活状況を教えてくれるご近所にも私たちの顔をおぼえてもらえるように心掛けています。



ありがとう、待ってたよ。

質問☆配食をしていてやりがいのあるところはありますか？

▼地域のボランティアさんの作ったぬくもりのあるお弁当を受け渡すことができ、手渡した時の喜んでくれる顔が見られるとやりがいを感じます。

▼月1回ですが、外に出て待っていてくれる人や、心待ちに毎回楽しみにしてくれています。

▼いつも食べやすい献立で、味の評判もよく色鮮やかな弁当で季節感を味わうことができると、喜びの声を聞くと届ける私たちもうれしくなります。

▼届けた時に「風邪を引いて

利用者の声

ないかな？」と心配することもあります。元気な笑顔を見ると安心しますし、「ありがとう」と言われると活動を続けて良かったと思います。

質問☆今後のためにも、よりよい意見を聞いて向上していきたいと思えますので、何か要望や意見があれば教えてください。

▼いつも食べやすく作っていただいて、季節のものが入っているので毎回楽しみに待っています。

▼配食の日になるとお昼頃に民生委員さんがお弁当を届けて一人暮らしの私に声をかけてくれるのでありがたいです。

▼配食の日は、いつもと違ったご飯を食べられるので毎回待ち遠しいです。月1回だけでなくもっと増やしてほしいです。

▼私の今住んでいるこの地区も新しい道ができたたり、お店もできたりと少しずつ変わっていきます。でも、

地域で何か変わったことや気をつけるようなことをこのお弁当を届けた時に知らせてくれるので、とても助かります。

今回、ご紹介した「配食サービス」では、お弁当を届けることによって地域で暮らす人と人とのふれあいが始まるきっかけになっています。そして、地域のみなさんにご協力を頂き、いつまでも住み慣れたまちで暮らせるように、高齢者の食生活と健康を考えながらこのお弁当をとおして、在宅生活を支援しています。今後も気軽に参加・利用できるサービスを提供できるよう社会福祉協議会は取り組んでまいります。



手のこんだ献立もていねいに作ります。

福祉ニュース

このコーナーは、地域福祉に関するニュースやお知らせを紹介します。

10月30日

優しい心を育てます

デイサービスしらはま ふれあい交流会

高齢者と児童とのふれあいをとおして「おもいやりのある心」を育むことを目的に、デイサービスしらはま利用者と白浜小学校5年生とのふれあい交流会を開催しました。

和気あいあいと過ごしました。お昼をはさんでゲームで盛り上がった後は、いたわりの心を込めて肩たたき。子供達の元気よけたたく姿にお年寄りも大喜びでした。



あ〜気持ちいいねえ

11月18日

日頃の備えが災害を最小限に!

災害ボランティア養成講座

災害ボランティア養成講座を三芳農村環境改善センターにて開催しました。

今回の養成講座は、実際に震災、風水害の被災地へ行って災害ボランティア活動を実践している千葉レスキューサポートバイク、岡田徹副理事長の貴重な体験談を中心に、ボランティアとしての心得、ボランティアコーディネーターの必要性、被災者が一番求



うまく結べるかな?

めているものは何か?など被災地の様子やボランティア活動の様子をスライドで分かりやすく説明して頂きました。

午後からは、安房消防犬掛分遣所職員による災害時に役立つ(もちろん普段の生活にも)応急手当の方法や簡易担架の作り方を指導して頂き、みなさん真剣に、三角巾を使った止血方法や固定法に取り組んでいました。普段使わない結び方なので「とても難しく、覚えるのに一苦労した」との声も聞かれました。いっどこで起こるか分からない災害だからこそ、日頃から知識や技術の備えが必要だと実感した講座でした。

1月25日

「オレオレ」の電話に要注意

千倉地区高齢者 ふれあいの日

「高齢者ふれあいの日」が、ちくちく介護予防センターゆりにて開催されました。今回は、消費生活相談協会のアドバイザーを迎え「オレオレ詐欺」のお話を聞きました。当日の参加者は一人暮らしの方が多く、みなさん熱心に耳を傾け、今日から「オレオレ」という言葉に騙されないよう気持ちを引き締めていました。



勉強したあからだまされねえよ

2月8日

ふれあいで活力をもらって丸山地区いきいき交流



まあ!やわらかいおてでだこと

丸山地区の75歳以上の高齢者を招き、「第4回高齢者いきいき交流事業」を丸山公民館にて開催しました。厳しい寒さが続く中でしたが、天候に恵まれ100名の高齢者とボランティア32名が参加。

はじまりの、丸山保育園児13名の歌や高齢者とのふれあいではわれさきに子供たちと握手しようとしてにぎやかな笑い声にあふれました。

午後は公民館活動をされている民謡・童謡・フラダンスの有志による発表、続いて「和町民舞の会」による松前祝い唄など15曲もの踊り披露がありました。来年度も楽しい企画を予定していますので、皆様のご参加をお待ちしております。

2月8日

地区社協の運営について活発な意見交換
富津市飯野地区社会福祉協議会が和田地区を来訪

富津市飯野地区社会福祉協議会の役員30名が、和田地区社会福祉協議会へ交流研修会に来訪しました。

当日の会場は、和田コミュニケーションセンター会議室で行われ、和田地区社協の役員6名が対応しました。まず、お互いの地域の特性、事業内容と予算、役員構成、地域のニーズなど紹介したあと、活動する上で問題点について活発な意見交換を行いました。

飯野地区社協の役員には2名の市議会議員も同行し、地区社協活動を推進していく意気込みを感じました。



意見交換に熱が入る皆さん

3月12日

「べったんべったん」美味しいお餅になったかな？
三芳地区 ふれあい交流餅つき大会

三芳地区の70歳以上一人暮らし二人暮らしの方と、三芳幼稚園児を対象に、餅つき大会を開催しました。

最近、石臼と杵を使った餅つきはあまり見慣れなくなりましたよね。そこで、「おじいちゃんおばあちゃんと一緒に餅をついて、美味しい丸餅を作ろう！」と朝からやる気満々の子供達。重い杵を力いっぱい振り上げてべったんべったん頑張りました。



次は私よ～！ヨイシヨ～(^o^)

つきたてのお餅を何回もお代わりしてお腹いっぱい大満足の園児達でした。

11月8日

戦禍の教訓を心に刻み、平和を誓う
南房総市戦没者追悼式

白浜フーラルホールを会場に遺族、関係者が参列し、戦没者の霊に献花し、恒久平和を祈りました。

会場には、慰霊塔を中心に花と波をあしらった菊の花で祭壇が設けられました。式で石井裕市長は、「先の大戦から学び取った多くの教訓を改めて心に深く刻み、世界の恒久平和と希望に満ちあふれ、皆が心豊かに暮らせる南房総市となるため全力を尽くして参ります」と述べられました。献花では、遺族、参列者が祭壇に花を手向け、手を合わせて戦没者の「冥福を祈りました。

会場入り口には、遺族のご好意により戦地に赴かれたご家族の遺品が展示され、戦争の悲惨さをあらためて思いおこし、平和の尊さを認識させられる追悼式となりました。



遺族の献花



遺品の展示

11月11日

バーベキューとレクリエーションで距離が近づいたかな

安房郡市結婚相談員連絡協議会主催の「ふれあいパーティー」



僕の相手はだあれ!?

南房総市久枝にある民宿「澤金」を会場に「ふれあいパーティー」が開催されました。

相川喜一会長の挨拶を始まりに、その後、バーベキューで食事をとりながらのふれあいたい行い、午後からは鴨川市の黒須巖さんらの指導員によるレクリエーションで、参加者がお互いに自己PRし、楽しく交流を深め盛況なうちに閉会しました。

この「ふれあいパーティー」という出会いの場をきっかけにして、多くのカップルが誕生することを願います。

南房総市から日本一の長寿を
千葉県老人クラブ連合会より白寿賞贈呈

南房総市老人クラブ連合会会員で、白寿をお迎えの方々に、長年の会員活動の功績と長寿のお祝いとして、市内の7名の方に感謝状と記念品が千葉県老人クラブ連合会会長より贈られました。

受賞者で、千倉地区にお住まいの的場みきさんは、現在、家族みなさんの温かい見守りで元気に毎日を過ごされています。お孫さんひ孫さんも日頃から気にかけて、みきさんのもとを訪れるとのこと。「おばあちゃん、若い頃とても苦労をしたから、これから、私たちが家族が元気でいられるように見守っています。」とご家族は話されました。

野呂千葉県老人クラブ連合会会長は、「本当に長い人生、ご苦労もあつたと思います。これからも元気で長生き、そして日本一の長寿になってください。」と激励の言葉を贈りました。



元気百倍×2

広がれ!

ボランティアが活動をレポート

ボランティアが活動をレポート 和ーク

南房総市内では、いろいろな技術や知識を持ったボランティアグループが活動しています。ここでは、ボランティアグループから届きました、活動レポートをご紹介します。

まちぐるみボランティアの町 長野県小布施町へ研修旅行

千倉地区「やまびこの会」

福祉の取り組みを学ぶ



幹事の鈴木さん、本吉さんありがとうございました。みんなでハイポーズ。

やまびこの会では、昨年10月28日、29日に長野県小布施町を中心に研修旅行を行いました。参加者は、本会会員とその賛同者で、日頃からボランティアに興味を持っていらっしゃる同士で話も共通点が多かったです。楽しい研修旅行ができました。

さて、同会一行が小布施町の葛飾北斎館前に到着しますと、ガイドボランティアが

えてくれました。約2時間にわたり北斎館をはじめとして歴史や文化などについて熱心に説明してくださいました。

私たちが特に興味を持ったのは、この町では個人所有の敷地内を誰でも通行できることでした。区域は限られていたものの、歩く人のためか山野草などが数多く飾られ通行人を楽しませていました。敷地内を誰でも散歩などできるようなるまでは関係者の苦労とともに住民のボランティア精神と理解が最も大切だと話しておりました。

最後にガイドさんから小布施町は県下一小さい町ですが町民全員で安らぎと生活文化の向上を目標に頑張っているという話がありました。研修旅行の成果として、ボランティアについて多く語られ会員以外の方からも今後、慰問や給食などに参加したいとの申し出でもあり有意義な研修旅行ができました。ありがとうございました。

ボランティアにできる環境にやさしく暮らしやすい生活とは 千葉県ボランティアの集いに 南房総市からボランティア連協会員が参加

「第27回千葉県ボランティアの集い」が鴨川館（鴨川市）を会場に、1月14日・15日の両日にわたり開催されました。

1日目はテーマごとに6分科会にわかれ開催、2日目は記念講演が行われ、テレビ東京の収録もありました。

南房総市から実行委員2名を含む4名が参加、なお2名の実行委員（後藤中一／山口勝久）は、「環境、自然と人のかかわり」がテーマの第3

分科会の幹事として参加しました。そして、この分科会では、

事例発表者が南房総市千倉地区で農事組合法人「南総えこるじ」を立ち上げた代表理事の早川光樹氏と鴨川市NPO法人大山千枚田保存会、理事長の石田三示氏でした。事例発表後には、活発な質疑応答が行われ、食の安全、棚田の保存など自然環境に興味を持ったことがわがわが有意義な分科会でした。



発表者・助言者・幹事の顔ぶれ



真剣に耳を傾ける参加者

この豊かさで長生きのヒケツ 千倉地区「ほほえみ」が健康セミナー開催

ほほえみ（宇畑房子代表）では、昨年10月28日平館コミュニティ集会所で健康セミナーを開催いたしました。

前日の台風が嘘のようにすばらしい秋晴れとなり100名余名の方々がお集まりくださり平館の松永先生の院長でもある松永平太先生の講師で、「生きてきたように 死んでいく」とのテーマで開催されました。

誰もが逃れることのできない「死」を直視したお話を皆さん真剣に聞き入っていました。最も大事な課題でありどんな権力者、財産家にかかわらず誰人も絶対に、間違いないで迎える「死」その時どこで？その問いには全員が「家で終わりたい」でした。理想的な「死」はPPK（ピンピッコロ）であり、そのためには、うまいものばかり食べて薬をしてはいけない、贅沢をしていると早死にする。その作戦としてまず、①歩くこと。②笑うこと。③感謝す

ることさらに大事な言葉として、①ありがとう。②すまないね。③おかげさまで。とのことでした。この言葉は人への思いやり、優しさ、そして本当に心の豊かさの中から生まれてくる言葉であると思いました。

先生は爺ちゃん、婆ちゃん の存在を大切にすることが自分に還ってくるからと。若い人に聞かせたいと話されておりました。善い社会、いい環境をつくるにもすべて一人一人の心や行動によつてつくられていくものだと痛感した次第です。忙しい、人との関わり、様々な社会情勢の変化の中で何気なく過ごしている毎日、今一度立ち止まり、先生のお話を思い起こし

て、心身共の健康を留意しながら、先生の言われた、長生きしてよかつたね！と言える社会へ、お年寄りを大事にする社会へ、困った人に手をさしのべる社会へ、いのちに優しく、こころ豊かな社会へ、を伺い共々に歩んでいかななくてははいけないと思いました。



松永先生の熱弁！ 笑いがあります。

和田地区「和田町民舞の会」 千葉県社会奉仕賞受賞！



副知事から表彰状の授与を受ける榎原代表

南房総市ボランティア連絡協議会登録の和田町民舞の会（榎原八千代代表）が平成19年度千葉県社会奉仕団体に選ばれ、昨年12月25日千葉県県庁において副知事から表彰状が授与されました。民舞による高齢者施設への慰問、和田地区で開催された

敬老会やふれあい広場などへ参加し、長年の活動が認められ栄えある受賞となりました。同連絡協議会としても今回の受賞を心からお祝いするとともに「和田町民舞の会」のさらなるご活躍をお祈りします。

富浦地区

老人クラブ富浦支部では、2月7日に第2回カラオケ大会を行いました。



よっ！日本一～!!

当日は、46名が参加し、思い思いの歌を歌い、手拍子や合唱でにぎやかな楽しいひとときを過ごしました。

白浜地区

老人クラブ白浜支部では、10月18日秋季スポーツ大会を白浜町スポーツ公園にて開催しました。



晴れ渡る秋空のもと、和気あいあいとした雰囲気の中で気持ちの良い汗を流しました。

力をこめてゴールへそれ！

富山地区

老人クラブ富山支部では、3月7日に会員の健康づくりと交流を目的にターゲットバードゴルフ大会を開催しました。

この日の為に練習を重ねた会員の腕前が披露され楽しいひとときを過ごしました。



ナイスショット！



このコーナーは、地域の人々の協力による、各区のイベントを紹介していきます。

千倉地区

老人クラブ千倉支部では、11月17日に健田小学校体育館にて演芸大会を開催しました。

今年度は敬老会と同日の開催のため午前中のみでしたが、各地区より選りすぐりの芸達者が芸能の披露をしてくださり、今年も大盛況でした。



おそろいの衣装でス・テ・キ！

和田地区

老人クラブ和田支部主催による第2回高齢者スポーツ大会が1月20日に、南三原小学校体育館で行われました。

約175名の会員が参加。スカットボールや輪投げ、ユニカールなどの競技に、熱戦をくりひろげ楽しいひとときを過ごしました。



はじめて挑戦“ユニカール”

三芳地区



老人クラブ三芳支部では、11月29日に芸能発表会を行いました。カラオケで自慢の喉を披露する人、舞踊で妖艶な舞いを披露する人、コーラスで仲間と楽しく歌う人など、趣向を凝らした内容で、出場者も観客も終始笑顔で発表会を楽しみました。

丸山地区

ボランティア連絡協議会丸山支部では、42名のボランティアさんの協力により、12月24日に歳末たすけあい運動で寄贈されたもち米で餅つきをしました。翌日に餅を切って袋詰めにし、丸山地区内の70歳以上の一人暮らしの方（希望者）等90名に、正月のお餅としてお届けしました。



餅きりもベテラン

募集

ボランティア移送サービス事業

運転ボランティアさん募集!!

日常生活に支障のある高齢者や心身に障害をお持ちの方々を対象に、医療機関や買い物等の外出を支援する移送サービスをお手伝いして下さる運転ボランティアを募集しています。

資格…普通運転免許又は二種運転免許をお持ちの方で、福祉にご理解のある方です
※普通運転免許の方は当協議会開催の講習会を受講していただきます

連絡先…

南房総市
社会福祉協議会
☎44-3577



募集

南房総市心身障害者（児）福祉会

福祉会員募集中!

南房総市内にお住まいの方を募集しています

4月から
発足します



一般会員/身体・療育・精神の各福祉手帳をお持ちで福祉会主催の諸行事に参加できる方
賛助会員/福祉活動に関心のある方

年会費/500円

募集期間/平成20年3月31日まで

申込先/各地区の地域福祉センターまで

お問合せ先

南房総市社会福祉協議会内 南房総市心身障害者（児）福祉会準備会
南房総市千倉町瀬戸2705-6 TEL：0470-44-3577/FAX：0470-44-3542

相談

無料法律相談

～弁護士がわかりやすく
お答えします～

予約申込：事前に予約受付日に電話（44-3577）で
申込が必要です。

予約受付時間は午前9時から定員になりし
だい終了します。

定員：各相談日6名まで
キャンセル待ちは受け付けません。

費用：無料

申込および問い合わせ：南房総市社会福祉協議会
電話 44-3577

※相談はおひとり30分とさせていただきます。
調停中・裁判中の事件の相談並びに同一内容に
ついての再度のご相談には応じられません。

開設日	開催場所	開設時間	予約受付日
平成20年 5月7日(水)	ちくら介護予防センターゆらり	午後1時から4時	4月21日 (月)
平成20年 7月2日(水)	とみうら元気倶楽部		6月16日 (月)
平成20年 9月3日(水)	南房総市役所富山支所		8月18日 (月)
平成20年 10月1日(水)	三芳農村環境改善センター		9月16日 (火)
平成20年 11月5日(水)	白浜保健福祉センターはまゆう		10月20日 (月)
平成21年 1月21日(水)	丸山保健福祉センターほのぼの		12月15日 (月)
平成21年 3月4日(水)	和田地域福祉センターやすらぎ		2月16日 (月)

善意の寄付

(敬称略)／平成19年10月1日～
平成20年2月29日現在)

有限会社安房の国	112,934円	白浜地区乙浜区民一同	29,794円
富山老人クラブ将棋愛好会	3,480円	JA安房花卉部長尾支部	6,550円
平成3年区長OB会	23,134円	ローズマリー公園グリーンクラブ	17,343円
茅野幸男	50,000円	嶺岡農産物振興会	2,840円
南房総市朝夷商工会青年部 (チャリティーゴルフの募金)	31,000円	吉野衛	50,000円
白浜地区根本区	30,000円	笹子武春	10,000円
大貫小松寺もみじ祭り実行委員会	27,210円	千倉商工会女性部	30,000円
千倉ゴルフクラブ	127,951円	丸山地区酪農組合	8,652円
庄作商店	10,000円	南房総市社協福祉箱	13,772円
株式会社アスカ佛商	300,000円	匿名 10件	623,372円
南房総市体育協会白浜支部ゴルフ部	21,192円		
館山警察署 (親善ソフトボール大会のチャリティー募金)	23,841円		
千葉美装株式会社	100,000円		
円蔵院護持会	20,153円		
富浦町建設協同組合	30,000円		
三石山観音寺	50,000円		

第2回和田福祉まつりでご協力いただいた方々にご寄付をいただきました

おたのしみコーナー福祉箱	16,100円
扇洋会	6,100円
手作りボランティアの会	10,000円
なみはらっこくらぶ	10,000円
ふれあい喫茶	7,302円

【お詫びと訂正】 てんだぁ第4号に掲載しました、善意の寄付 井上正雄様は、100,000円の誤りでした、この場をもちましてお詫びと訂正を申し上げます。

社協会費のご納入ありがとうございました

平成19年社協会費の納入には、多くの市民の皆様からご協力をいただき誠にありがとうございました。また、自治会関係者の皆様には会費の納入にあたりご協力いただき感謝申し上げます。

ご納入いただきました社協会費は、平成19年度事業計画にしたがって有効に活用させていただきました。社協会費の納入は事業費としての目的だけでなく、広く市民の皆様にご賛同いただき、社協の行う福祉活動を支え、参加していただくことと同じ意味を持っております。今後も皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

一般	11,594,200円
賛助	977,000円
特別	1,220,000円
	<hr/>
	13,791,200円
	(3月7日現在)

赤い羽根共同募金運動にご協力ありがとうございました。

10月から始まりました赤い羽根共同募金、そして12月からの歳末たすけあい募金で、みなさまからのあたたかい善意をお寄せいただき、ありがとうございました。

募集に際し、ご協力いただきました自治会やボランティアの皆様をはじめ多くの方々のご協力に、心から感謝いたします。

赤い羽根募金

6,890,221円

赤い羽根募金で寄せられました募金額の約7割が南房総市社会福祉協議会に配分され、地域福祉事業（結婚50周年記念祝賀会・社会福祉大会・介護教室・障害者スポーツ大会）や福祉啓発活動（広報紙「てんだぁ」・ホームページ開設）などに活用させていただきます。

歳末たすけあい募金

もち米 (90kg) 白米 (5kg×20袋) 7,045,859円

歳末たすけあい募金は、歳末たすけあい配分委員会において審議し、支援を必要とする人や福祉施設へ民生委員児童委員さんを通じ、配分させていただきました。

ここに報告いたしますとともに、福祉のまちづくりの貴重な財源となります募金活動に今後ともご支援・ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。